

2019 年度日本数学会季期研究所

MSJ Seasonal Institute (MSJ-SI) 2019/2020

日本数学会学術委員会

2019 年度 MSJ-SI のテーマ公募を延長いたします。尚、今回の延長から時限的に援助金を増額いたします。

1. 開催目的

- 国内での数学研究のより一層の活性化
- 次世代研究者の育成
- 海外の数学者との交流の促進、および国際貢献

2. 運営組織

- 組織委員長 1 名のもと、組織委員会を構成し、講演者・プログラムの決定などすべての決定を行う。
- 組織委員会は事前に学術委員会と連絡をとり、理事長名による招待状の発送、ポスターの発送、Web ページの管理、講演者の情報および旅行日程の管理、ビザ申請書類作成、開催日レジストレーション等の開催の準備について責任をもつものとする。
- 日本数学会の学術委員会は適宜、助言を与えるものとする。

3. 財政基盤について

数学会から 500 万円程度が組織委員会に援助される。これ以上の費用を必要とする場合は、組織委員会が各種財団・公的資金に応募するものとする。

4. 開催条件

- 開催主体は日本数学会とする。場合により、大学や財団法人等非営利団体との共同主催・共催・後援も可能とする。やむを得ない場合には、企業等による協賛・後援も許容する。
- 規模は組織委員会の決定に任せられるが、海外からの招待講演者を必ず含むものとし、また招待講演者の一部によるサーベイ形式の講演を行うものとする。
- 日本数学会と連携する海外数学会・研究所等を通じて、海外からの若手の研究者を招待することを奨励する。韓国数学会・台湾数学会から、数名ずつの参加者の推薦が予定されている。

- 開催は、日本国内で行うものとする。
- 参加登録は会場施設の許す限りオープンに受け付ける。
- レフェリーつきの研究あるいはサーベイ論文を主とする報告集を作成し、原則として数学会から出版する。
- 研究集会のアナウンスメントを、適宜、数学通信に掲載する。また、研究集会の開催後、開催報告も数学通信に掲載する。
- 研究集会終了後、開催報告書および会計報告書を数学会に提出する。

5. テーマ公募の方法

- 2019 年度中の開催に関して、数学会会員から広くテーマを募集する。締切は、**2017 年 11 月 30 日**とする。
- 応募者は、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者（国外および国内：事前承諾は不要）を記入の上、その他参考となる資料があればそれを添えて、電子メールないし通常郵便にて提出する（次ページの用紙を参考のこと）。電子メールを利用する場合には、添付書類の形式は、テキストファイル、ないし PDF ファイルとする。一方、郵便の場合は、MSJ-SI テーマ公募と朱書すること。

送付先：日本数学会学術委員会委員長 杉本充

電子メール： sugimoto(at)math.nagoya-u.ac.jp

郵便：〒464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院多元数理科学研究科